

くらしのメニュー おたより 133号

令和 7年 9月 1日

私のひとりごと

石丸博巳

私はいつも人から「石丸君はまじめだね」と言われます。自分ではそれほど真面目とは思っていないので、妻にも聞きますが「誰が見ても、まじめにきまってるわ!」と言われてしまいます。これはまじめと言う事とは違うと思いますが、私が持って歩くカバン(手持ちカバン)の中は、その中で物の位置も決まっています。妻がちょっと中を触っただけでも、分ってしまうほどですからそれともいわずまじめと言うか几帳面なのかも知れません。



ところで、私は約束時間で決めていることがあります。人と時間を約束したら、5分前に伺う事です。

約束すると、相手の方は15分ほど前に、“そろそろ来る頃だな”と思い始めます。15分も前に伺うとちょっと早すぎるので、必ず5分前に伺う事にしています。もし遅くなるようなら、15分前に「15分ほど遅れます」と連絡します。相手の方は「ちょっとくらいいいよ。気をつけてね」と返事してくれます。そこで遅くとも約束してあった時間の5分から10分後には到着するようにします。相手の方は必ず喜んでくれます。約束時間ぎりぎりに連絡したのでは、相手の方に失礼です。

私が長い年月仕事をしてきた中で気が付いたことで、自分で「約束5分前」と名付けて、会社でも社員に話して守ってくれるようお願いしています。必ず相手の方の信頼を得る時間の使い方です。

今月の写真紹介

三国町内のリフォーム2点

石丸ハウスセンターでは、大きな新築工事だけでなく、日々の暮らしに寄り添うリフォーム工事も数多くお手伝いさせていただいています。

今回ご紹介するのは、暮らしの変化や快適性を高めるための工事です。例えば、台所の床貼り替えや居間の畳交換・クロス貼り替えといった内装リフォーム。

さらに補助金を活用した内窓設置により、断熱性や防音性を高め、省エネにつながる工事。また、これまで和室として使っていた



和室と台所の床の段差をなくするためのバリアフリー工事

お部屋を洋室へ変更し、ライフスタイルに合わせた空間づくりを実現。お子様の成長に合わせて、大きな子供部屋を



間仕切りし二部屋に分ける工事も行いました。

どの工事もお客様の声を大切にし、快適で安心できる住まいとなるよう丁寧に仕上げていま

す。小さな工事から住まい全体のリフォームまで、ぜひお気軽にご相談ください。

青森のねぶた祭りに行ってきました“(-” “-)”

青森県の五所川原市の立佞武多(たちねぶた)高さが20m以上もある事で有名です。行ってきました。

“青森のねぶた”とそのねぶたが海を渡る“海上ねぶたと花火”そして五所川原市の“立佞武多”ねぶただけを見てきました。

どれも迫力がありますが、立佞武多の迫力は圧倒的です。24mの特だねぶたが3基、8階建ての建物位の高さのものが迫ってくる迫力はその場でしか味わえないものです。大小合わせて30基のねぶたと、その前に跳人(はねと・はねとは青森市の呼び方で、五所川原では跳ねてなかったです)と言う踊り手の行列が200人程います。

総勢5000人が2時間の間跳ねたり、お囃子の練り歩きをしたり、一週間毎日繰り出しているのです。その勢いと熱気、そして、はじける笑顔には圧倒されました。



五所川原の立佞武多・圧倒の24m・暗くてわかりにくいけど人がいます

ずっと側にいる、という安心。

株式会社 石丸ハウスセンター TEL 82-5533
一級建築士事務所 FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-15 ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

このおたよりを書いているのは8月21日です。毎日暑い日が続いています。日本中猛暑かと思えば、線状降水帯による豪雨災害。コメもこの天候で不作になるかもしれないと言われ、早稲のハナエチゼンが5キロで4000円台と新聞に書いてありました。今年も心配だ!